

# 振興会ミニ通信

平成 27 年 3 月 20 日発行 第 10 号

発行者 福島県授産事業振興会

電話 024-563-1228

第 10 号のミニ通信は県南・いわき担当支援員からの報告です。



## 【県南】

白河市では、正月が過ぎると 2 月には近隣町村より集客する「だるま市」があり春の近づきを感じるイベントがあります。

そんな大イベントを施設では見逃さず授産品の販売をしています。今年は出店施設数が少し増え 5 施設が参加しました。



また、昨年受注した「玉川村 60 周年」の式典に配布する記念品を納品しました。



左の写真は玉川村福祉課長です。  
右の写真は総務課須田さんに振興会から記念品を渡したところです。



(震災復興支援員県南担当 大平)

## 【いわき】

2 月 10 日に 6 圏域最後となる展示・試食会がいわき市労働福祉会館で行われました。いわき圏域から 7 施設、お客様も行政関係 11 名、民間企業から 9 名来て頂き、各施設の取り組みや受注できる仕事、食品の試食や販売なども行いました。この展示・試食会をきっかけにして、今まで授産製品を利用した事のない方々に、今後改めて製品をアピールしていきたいと思えます。



試食会終了後は、近くに迫った食品表示法改正に伴った食品衛生法の講義を 1 時間という短い時間でしたが保健所の方にいただきました。

法律改正により施設の皆様には負担が増えるかとは思いますが、支援員一同皆さんの手助けが出来るように今後も頑張っていきたいと思えます。

(震災復興支援員いわき担当 前林)

## 《本部からのご連絡》

東日本大震災から丸 4 年が経過しましたが、被災された施設の皆様の苦労はまだまだ続くものと推察いたします。微力ながら引き続き当会も支援をしていきたいと思えます。

さて、平成 26 年度末にあたり最後の締めを行っているところでありますが、平成 27 年度も心機一転活動して参りますのでよろしくお願い申し上げます。